

# ボランティアセンターだより

2020.9  
ながつき  
長月 100号

支えられたり  
支えたり

編集・発行 泉南市ボランティアセンター 泉南市ボランティア連絡協議会  
泉南市樽井一丁目8番47号 TEL 072(483)0294  
泉南市総合福祉センター(あいびあ泉南)3階 sennanshi-vc@sennan-shakyo.or.jp



絵手紙 石垣 宏子



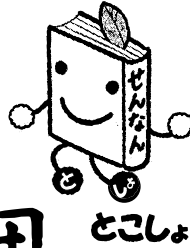
こんな道具で修理します



さわると本物みたい!

泉南市立図書館

## ここにもボランティア! 図書館応援団



あなたが持っている技術力・経験・アイデアを活かしませんか? 素敵な本と人との出会い、愛される図書館づくりと一緒に創意工夫できないかと発足されたボランティアグループが、「図書館応援団」です。

各グループの発足は、平成20年~23年で、現在も定期的に活動を続けています。



次回の展示物を製作中

2階への階段を上がって左にある、大きなガラス張りの展示物を見たことがありますか?

それを作成しているのが「ディスプレイグループ」で、今回のテーマは「泉南市の特産物」です。大きな空間なので、一度に入れ替えができず、「ただいま準備中」の札を掲げながら少しずつ作っています。でき上がっていくのを見るのも楽しみです。

「ディスプレイグループ」は、現在メンバーが少ないので募集しています。

どのグループも特別な技術などは必要なく任意での参加で、工作や手芸が好きな方、手先は不器用だけどアイデアあふれる方、子どもが好きな方など、幅広い年齢層の方々が参加されています。興味が湧いたらぜひ図書館へ!

問合せ 泉南市立図書館 TEL 482-7766

### 修理グループ

傷んだ本(落書き、破れ、落丁...)や傷の入ったCD・DVDなどの修理  
新しい本のカバー装備  
イベント「本の修理屋さん」の協力

#### 【活動日】

毎週木曜日  
午前10:15~11:45

### ディスプレイグループ

「泉南」と「本」をメインテーマにした図書館の展示物・掲示物の作成  
しおり、マナー啓発ポスターなどの作成

#### 【活動日】

毎月第2・3・4金曜日  
午前10:15~11:45

### 絵本グループ

おはなし会「えほんタイム」での絵本の読み聞かせ  
簡単な工作で作ったおもちゃでの遊び相手

#### 【活動日】

毎月第1土曜日  
午後1:45~2:45

### さわる絵本グループ

目の見える人も見えない人も一緒にさわって楽しめるように工夫された絵本の製作  
(図書館を通じて視覚障がい者の方などへの貸し出しあり)

#### 【活動日】

毎月第1土曜日  
午後1:00~3:00

### ボランティアサロン

#### エコクラフトで作るお菓子入れ作り ボトルキャップのミニ針山

お待たせ  
しました

日時 9月14日(月)  
13時30分~15時30分

場所 泉南市ボランティアセンター  
(あいびあ泉南 3階)

講師 ボランティアサロン実行委員  
10名(先着順)

参加費 400円(お茶菓子付き)

持ち物 洗濯バサミ5個・はさみ

受付 9月1日(火)~11日(金)

申込み 泉南市ボランティアセンター  
TEL 483-0294(平日10時~16時)

泉南市社会福祉協議会  
TEL 482-1027 FAX 482-1618

(平日9時~10時・16時~17時30分)

### ボランティア講座 ボランティアってなに?

「どんなことをするの?」「おもしろいの?」「やってみたくて...なかなか踏み出せない」と思っている方、お待ちしております。

日時 9月25日(金) 14時~15時30分

場所 泉南市総合福祉センター  
(あいびあ泉南) 3階 研修室1

講師 社会福祉法人 大阪ボランティア協会  
青山 織衣さん

定員 30名(先着順)

受付 9月1日(火)~23日(水)

申込み・問合せ 泉南市社会福祉協議会

参加費  
無料

TEL 482-1027

FAX 482-1618

※新型コロナウイルス感染拡大状況により中止になる場合があります

### 編集の窓

コロナ禍での3カ月の巣こもり中に片付けをしていて、捨て忘れていた昭和50年代の手紙が入った箱を見つけた。OL生活・結婚・子育て中の物で懐かしい気持ちになった。その頃でも電話も使っていたが、近況便り・お礼状・訪問の約束なども手紙でやりとりしていたものだ。何枚もの便箋に時間をかけ

てペンを運び、もう届いたかなと数日間を過ごし、郵便受けに返事があった時のうれしさを久々に思い出した。しかし、外出自粛をするためにオンライン○○・リモート○○が必要な世の中になった。スマホは言うまでもなく携帯電話も持たない派の私としては、「このままでは不便?」「時代に取り残されていく?」と、やっとなら考え始めている。

荒井 純子